

相馬市講師研修会 講話資料「授業づくりのポイント」

平成26年5月7日(水)
相馬市教育委員会学校教育課課長補佐兼指導主事 志賀 拓広

1 よい学習課題を設定するポイント

(1) 多様な課題設定

- ① 「引き出す」という教師の構え
 - ・「サイ」から「タイ」へ
- ② 学習課題の条件
 - ・「追求する価値がある」「追求しようとする意欲がわく」
- ③ 子どもと教師の思いや願い
 - ・子どもたちの思いや願いと、教師の授業に寄せる願いがかかわりあう場である

学びがいのある魅力的な必要感や必然性を感じる課題設定

2 発問のポイント

(1) 発問のポイント

(「授業改善ハンドブック『授業の窓』授業を変える」福島県教育資料研究会 H9.2 より)

- ① 一つの発問でより多く答えられるような発問を工夫する。
- ② 一人一人の能力や心情、心理などを十分考慮しながら、反応をあらかじめ予想して発問する。
- ③ 授業のめあて、児童生徒の実態に即しながら、発問の目的、内容、問いかけ方、タイミングを明確にして発問する。
- ④ 児童生徒の考えをまとめる時間の違いに応じるため、指名を急がないようにする。
- ⑤ 児童生徒の発言や発表を板書したり、繰り返したりして、他の子どもたちに広げ、思考に深まりを持たせるようにする。

授業の主役は子どもたち、教師はコーディネーターの役割を！

3 話し合い活動の充実（言語活動の充実）のポイント

(1) 子ども一人一人が自分の考えを持つ活動。

- ① 学習課題をしっかりと把握させること
- ② 自力解決の場を設定し自分の考えを持たせること

(2) 友だちの考えなどを共有する活動。

- ① 質問をすること
- ② 友だちの参考となる考え（反対でも賛成でも）などをメモすること
- ③ 友だちの考えに感想・コメントを述べること
- ④ 自分の考えは根拠を明確にして述べること

(3) 自分や友だちの考えの中からよりよいものを吟味し合い、自分の中で再構成する活動。

- ① それぞれの意見が正しいかどうか
- ② 根拠が意見に適しているかどうか
- ③ 考えや意見と根拠を結ぶ理由は適切かどうか

※ 目的・内容・方法などを確認する。

- 何のためにするのか。
- どんな方法でするのか。
 - ・ブレインストーミング（ライティング） ・フリートーキング ・順番に発表
 - ・一つにまとめるのか ・できるだけ多くの見方や考え方を見つけるのか
- 分担や時間はどうするのか。
- 話し合いの結果をどうまとめるのか。
- 報告や発表はどうするのか。